

Arne

アルネ ②9

特集・ダニエラ・グレジスさん
今一番わくわくする服をつくっている人。

堀井和子さんがお引越し

京都知恩寺のチづくり市で
みつけた梅木マルティナさんの
くつしたやハラマキ。



梅村マルティナさんのかぎ針編み教室をお訪ねしました。

美しくてかわいい柄編みは特別な毛糸がヒット。



編み物をすると疲れがなあと、
マルティナさん。



Arne
27

Arne
26

マルティナさんは京都にお住まいのドイツ人。マルティナさんが育つた南ドイツのお家の近くに、編めば模様になる毛糸を作る工場がある。そこで毛糸を取り寄せて、靴下やハラマキやチヨックキ等をつくって、知恩寺と上賀茂神社と、梅小路の手づくり市で売つていらっしゃる。売れ

ると値段の10%を、アフガニスタンの女性と子供を支援している協会に寄付されている。編むだけで模様になる不思議な毛糸の作品は、楽しくてすてきで、買った人も幸せな気持ちにする魔法がおまけについているみたい。幸せにする編みもので、マルティナさんは今日もお忙しい。

毛糸はドイツ製衣です。



例えばオレンジ色と模様の毛糸1玉ずつで、



無地の毛糸も使って編むと…。



毛糸はこんなのです。



指先なしのソックスができます。
これは市で私が買ったもの。



こんな風にも。
センスがいいのです。マルティナさんは。



編むと柄になる。



これはマルティナさんがはいていらっしゃった。

編みもの教室にはたくさん毛糸が置いてあります。それぞれにテーマがあり、例えば「動物シリーズ」「ハリー・ポッター」「ファンデルト・ヴァツサー」(オーストリアのアーティスト)など。どれもカラフルです。でも毛糸のままではどんな模様になるのかわかりません。編まないとわかりません。1玉で靴下なら1足半、子供の帽子とマフラー。2玉で大人のチヨックができるそう。市で売られている作品は、ほとんどマルティナさんとドイツにいらつしやるお母さまと老人クラブで作られているそうです。「ドイツ人はみんな編みもの大好きですから」って。「私も大好きです。編み出したらやらめられない。編んでると落ち着くんです。子供はそれを知っているから、私がいたらしてると、ママ、ママ、編みものしてっていますね。日本人は糸をかけて編みますが、あれは疲れます。ドイツでは糸をかけないで編みます。効率いいし、肩こりの治療になります。ドイツでは編みものは肩こりの治療としてやっているんですよ、本当」。マルティナさんにお会いして、いろんなことを教わりました。



裏はこちらの模様。



長めのハラマキ。毛糸は2玉。上と下は違う毛糸。

これはハラマキです。
でも帽子にもなります。
かぶり方しさりげない。



1つのハラマキで、2柄の帽子が楽しめる。



ぐるっとねじって、半分裏がえしてー。



こうやって伸ばして、そのまま後ろにたらしても
かぶれます。かぶり方はいろいろ。



こうやってかぶりますね。帽子です。